

令和元年6月28日  
住宅局住宅生産課住宅性能評価書（設計）を交付した住宅の割合が過去最高に！  
～平成30年度の住宅性能表示制度の実施状況について～

平成30年度における住宅性能表示制度の実績がとりまとまりましたので、お知らせいたします（（一社）住宅性能評価・表示協会とりまとめ）。

## 【ポイント】

- ・新設住宅着工戸数に対する設計住宅性能評価書の交付割合は、26.1%で過去最高となり、3年連続の増加。

## 1. 住宅性能表示制度の概要

住宅の性能について、国が定める共通のルールに基づき、登録住宅性能評価機関が評価・表示をする制度です。

住宅性能評価書には、設計図書の段階の評価結果をまとめたもの（設計住宅性能評価）と、施工段階と完成段階の検査を経た評価結果をまとめたもの（建設住宅性能評価書）との2種類があります。

新築住宅については、平成12年10月より運用開始  
既存住宅については、平成14年12月より運用開始

## 2. 平成30年度実績

## &lt;評価書交付割合&gt;

【設計】：26.1%

（新設住宅着工戸数：952,936戸）

## &lt;評価書交付実績&gt;

【設計】：249,093戸

（対前年比：7.3%増）

【建設（新築）】：189,245戸

（対前年比：6.9%増）

【建設（既存）】：312戸

（対前年比：21.2%減）



（参考）制度実施以降の実施状況については、以下URLよりご参照ください。

一般社団法人 住宅性能評価・表示協会ホームページ

<https://www.hyoukakyukai.or.jp/>

## &lt;問い合わせ先&gt;

国土交通省住宅局住宅生産課 宮崎、今駒

電話（代表）03-5253-8111（内線39-456, 39-433）

（FAX）03-5253-1629

一般社団法人 住宅性能評価・表示協会 犬飼

電話 03-5229-7440